

情報提供年月日
令和4年3月1日

三次記者クラブ会員 様

送信者
庄原市 総務部 行政管理課
広報統計係 三戸（みと）
TEL0824-73-1159・FAX0824-72-3322

広島県天然記念物「新免郷谷のエノキ」後継樹 の里帰りについて

広島県天然記念物「新免郷谷のエノキ」（東城町新免字郷谷）の後継樹が里帰りします。

日時：令和4年3月15日11:00から

場所：庄原市新坂自治振興センター

内容：後継樹（苗）の引渡式

樹勢に衰えのあったエノキの増殖を依頼していた国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所林木育種センター 関西育種場から苗木が里帰りします。

※詳細は別紙のとおりです。

お問い合わせ

庄原市教育部生涯学習課文化振興係 電話 0824-73-1189

担当者：奥、稲垣



広島県指定天然記念物「新免郷谷のエノキ」の後継樹が里帰り

— 林木 遺伝子銀行 110 番による巨樹・名木等のクローン増殖の取組 —

ポイント

広島県指定天然記念物「新免郷谷のエノキ」(広島県庄原市)の後継樹の苗木が、国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 林木育種センター 関西育種場から里帰りします。

概要

国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 林木育種センター 関西育種場(岡山県勝田郡勝央町)では、我が国の貴重な林木遺伝資源の保存を図るとともに、品種改良等に活用することを目的とした林木ジーンバンク事業を実施しています。

この事業の一環として、各地の天然記念物や巨樹・名木等の収集・保存と併せて、所有者等の要請により後継樹を増殖する取組である「林木遺伝子銀行 110 番」を行っています。

今回は、庄原市教育委員会から増殖の要請を受け、広島県指定天然記念物「新免郷谷のエノキ」の後継樹として、つぎ木によって増殖し育てた苗木が里帰りします。

日時：令和 4年 3月 15日(火曜日) 午前11時～(雨天決行)

場所：広島県庄原市東城町三坂330 新坂自治振興センター

里帰りする苗木本数：つぎ木増殖苗 6本 (立木：3本 倒木：3本)

お問い合わせ先

○国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 林木育種センター
関西育種場(平日 8:30～17:15)

事業責任者：遺伝資源管理課 課長 坂本 庄生

担当者： 収集管理係長 山本 あゆみ

広報担当者：連絡調整課 連絡調整係長 林 勝洋

Tel : 0868-38-5138 Fax : 0868-38-5139

○庄原市教育委員会

担当者：生涯学習課 文化振興係 主任 稲垣 寿彦

Tel : 0824-73-1189 Fax : 0824-73-1254

本資料は、広島県政記者クラブに配付しています。

背景・経緯

全国には、学校や神社など身近な場所で地元の人々に親しまれ、ふるさとのシンボルとなっている天然記念物や巨樹・名木等が数多く存在します。こうした巨樹・名木等は、長い年月にわたって、風雪に耐え生育し続けているので、自然環境に対する適応性や抵抗性に優れている可能性が高く、林木遺伝資源として貴重なものです。

このため、林木育種センター^{りんぼく}では、これら巨樹・名木等の収集・保存を進めるとともに、所有者等からの要請により衰弱しているこれら樹木の後継樹を増殖し、里帰りをを行う取組である「林木遺伝子銀行 110 番」を平成 15 年から実施しています。これまでに、全国から 306 件の要請があり、229 件の巨樹・名木等の後継樹の里帰りを実施してきました（令和 2 年度末現在）。後継樹は、さし木やつぎ木で増殖したクローン苗木であり、親木と同じ遺伝子を持っていることから二代目として大きく成長することが期待されます。

内容

今回里帰りする後継樹の親木は、庄原市東城町新免にある広島県指定天然記念物「新免郷谷のエノキ」です。樹高約 30m に達するエノキの大木で、根元には小さな祠があります。地上 2m 付近で二又になっており、立派な樹冠を形成し生育状況は旺盛でした。

しかし平成 17 年頃から樹勢に衰えが見られ、近年急激に衰えたため、庄原市教育委員会から関西育種場に後継樹の増殖依頼をしたいと連絡がありました。令和元年 11 月に突然二又の幹の片方が倒れたと同委員会より連絡があり、翌月に関西育種場の職員が現況確認を行いました。

従来 1 本の木と考えられていましたが、倒木は腐朽していたものの、立木には被害が及んでいなかったことから、2 本の木が合わさっていたと考えられました。立木から増殖用の枝を採取するとともに、倒木の枝を確認したところつぎ木に使用可能な枝があったため採取しました。

令和 2 年春に立木・倒木の枝を各 8 本つぎ木したところ、立木は 5 本成功しましたが、倒木は 1 本だけ成功しました。そこで成功した倒木のつぎ木苗から枝を採り、翌年春にさらに 12 本つぎ木をしたところ 9 本成功しました。その後育成管理し、野外に植栽しても生育可能と判断した苗木 6 本（立木 3 本・倒木 3 本）を令和 4 年 3 月 15 日に里帰りさせることとなりました。

図、表、写真等

「新免郷谷のエノキ」



倒伏前



倒伏後



後継樹の苗木

